

長期展望の方向性(2050年に向けて)

「真の豊かさ」を実現できる
国土形成

ゆとりある豊かな暮らし

自由な働き方や暮らし方

多様な価値観、新価値の創造

技術革新(デジタル化等)のメリット享受

特色のある魅力的な地域・国土



地域の核への集約を図りながら地域内・地域外をネットワークでつなぐ多核連携型の国土づくり

実現手法

下記のようなリスク・課題に対応する国土づくりを進めていくことで、
防災・減災の主流化、ポストコロナ時代のしなやかで堅固な国土を構築していく

主なリスク・課題

自然災害

感染症

日本の活力低下・
世界の中での埋没

東京一極集中

食料確保

地球環境

老朽化時代の
インフラのあり方

突発性

進行性

前提

○ 人口減少・少子高齢化

○ 感染症等に対する危機意識の高まり

○ インフラ等の老朽化

○ 自然災害の激甚化・頻発化

○ 技術革新の進展(Society5.0など)

○ 日本を取り巻く国際環境の変化

我が国が直面しているリスク・課題対応型の国土形成
我が国がおかれる状況